

越冬隊友の会 ニュースレター 第6号

Oct. 2018

編集・発行 越冬隊友の会

『試練とともに、脱出の道も備えてください。』

樋野興夫

順天堂大学医学部 病理・腫瘍学 教授
一般社団法人 がん哲学外来 理事長
「越冬隊友の会」顧問

12月、新刊『楕円形のころろ ～ がん哲学エッセンス ～』が、春秋社から出版される、運びとなった。『真理は円形にあらず、楕円形である。一個の中心の周囲に描かるべきものにあらずして、二個の中心の周囲に描かるべきものである』（内村鑑三著『聖書之研究』より）。『生活環境や言葉が違って心を通えば友達であり、心が通じ合う人と出会うことが人間の一番の楽しみである。』（新渡戸稲造）を体験する日々である。「あなたがたを耐えることのできないような試練に合わせるようなことはなさいません。むしろ、耐えることのできるように、試練とともに、脱出の道も備えてください。」（コリント I 10章13節）。『越冬隊友の会』の理念は、ここにあろう。12月22日クリスマス会が、万座温泉で企画されている。乞うご期待である（チラシ）。

常日頃、かんと正面から向き合っておられる皆様へ
樋野先生と静かな山奥の温泉地でゆっくり一夜をお過ごしませんか？

2018年
がん哲学外来カフェ in 万座温泉
クリスマス会

日程 12月22日(土)～23日(日)
場所 万座温泉 日進館
申込み お電話にて宿泊の御予約・参加のお申込みをお願いします。また新宿から当ホテルまでの直行バスもご利用いただけます
☎ 090-4960-3782 担当：市村
講演 「がん哲学外来in万座 Medical Village」 樋野興夫先生
カフェ がん哲学外来カフェin万座温泉 場所：シオンの泉 定員：60名 クリスマス会をご予約されてない方もご自由にご参加いただけます 当日会場にお越しくださいませ

樋野興夫先生
1954年3月1日、鳥取生まれ。一般社団法人「がん哲学外来」理事長、順天堂大学医学部病理学教授。2005年「がん哲学外来」を開設。医療現場と患者の間を「橋渡し」を繰り返している。

当日の予定
12/22 18:00 夕食(宴会)
20:20 樋野先生講演
21:00 ご歓談タイム
12/23 10:00 がん哲学外来カフェ
12:00 朝食

一般社団法人 がん哲学外来 <http://www.gantetsugaku.org/>
協賛 朝日通館 ☎0279-97-3131 <https://www.manza.co.jp/>

『HGG10周年記念会を終えて』

東久留米がん哲学外来 in メディカル・カフェ スタッフ
「越冬隊友の会」庶務 小林真弓

つい先日まで、真夏日だったのに、秋を通り越し、冬支度をしなければと想うこの頃。快晴に恵まれた10月7日、東久留米がん哲学外来(HGG)10周年記念会を開催しました。春から準備を始め、前の週には、スタッフが集まり、クッキーを手作り。たくさん来てくれるのかな？などと、当日を想いながらのベーキングタイムは、スタッフにとりまして、楽しいひと時になりました。当日は、大勢の皆様がいらっしゃり、スタート時には満員御礼！感謝感謝です。10周年記念会は、定刻にスタート。樋野ジーン、10周年の感謝をこめた挨拶にはじまり、樋野先生の講演会の第一部へ。講演会では、いつもの樋野語録、樋野節に、会場は、時折笑顔があふれていました。続いて、ヴィオラの生演奏にリフレッシュ。第二部は、メディカルカフェと、樋野先生の面談。カフェでは、短時間でしたが、それぞれのテーブルで、みなさん熱心におしゃべりの花がさいていました。初めて参加された東久留米在住の方は、「がん哲学はずっと気になっていましたが、やっと来る事が出来ました」と、涙を浮かべて話されました。初めて参加された方も2割位いらっしゃり、10周年記念会を開催した意義、役割を強く感じた一日でした。10年毎月、開催を続けて来られたのは、ひとえに、がん哲学に共感し、空っぽの器を用意し続けてくださった先輩の方々の努力の御蔭にほかならないと痛切に感じる会でした。感謝！また、当日のスタッフのみなさんの半端ないパワーに、感服した一日でした。当日は、早くから集まり、みなさんそれぞれのパートに別れ、準備は、あつと言う間に終わり、いらした方をお迎えされました。スタッフのみなさんが、HGGの合言葉である、「あたたかく、なにげなく、さりげなく、居心地のいいカフェ」を実践して下さっていました。感謝でいっぱいです！これからも、空っぽの器を用意し続けていきたいなあ～ みなさん、よろしくお祈りします。

『5年という月日.....』

池袋がん哲学外来・帰宅中カフェ スタッフ
「越冬隊友の会」広報 角田万木

初めてカフェに参加したのは、初発の抗がん剤治療最後の退院日にあった東久留米カフェ5周年記念会でした。がん哲学の事は何も知らずに、病院の中待合室で見つけたポスターのがんであってもなくても誰でも参加出来るカフェという内容に惹かれ、人見知り一人で行く勇気のなかった私は夫と参加しました。当時は5年生存率30%と言われて、残された時間をどう過ごしてよいか分からなかった。でも、カフェでいろんな方たちの生き方に触れている内に、いつの間にか楽しく過ごせるようになっていました。2年前に再発治療が始まり、いろいろあり、生きているのが辛くなった時もありました。でも、改めてカフェと接している間に、病気になったからこそこの出会いを沢山して救われている事を思い出しました。治療中ではあるものの、先日東久留米10周年を元気に迎える事が出来ました。5年の間に出来なくなった事もありますが、まだ出来る事は沢山あります。主治医が助けてくれた命を大切に、これからはゆっくりと前に進んでいきたいと思ひます。

「越冬隊友の会」連絡先：
副会長 大弥佳寿子 TEL042-395-2140
kzoya@aa.bb-east.ne.jp

後援：一般社団法人 がん哲学外来
<http://www.gantetsugaku.org/>